

入浴関連死の予防について

昨年度、名取市では全世帯に「入浴関連死予防ステッカー」を配布し入浴関連救急による死者を減らす取り組みを行っています。毎年10人以上の入浴関連死が発生しており、本年度についても既に13人の入浴時の死者が発生しております。その数は年間2名程度の交通事故死者と比べ、非常に多い数になっています。そのほとんどは、自立した生活を送っている健康な市民で、寒暖差によるヒートショックによりお風呂で意識を失い、おぼれて命を落としたと思われる方もいます。本人の意識付け、家族の声かけにより防ぎ得る入浴関連死も多いと考えられます。

ステッカーが汚損した、無くした等で再度ステッカーを貼りたい、ぜひ貼りたい方は名取市消防署でステッカーを配布しますので、下記に電話連絡の上、来署頂きたいと思います。(枚数に限りあり)

過去3年間の入浴関連死者数の状況

令和5年 ⇒ 風呂場での救急件数31件中14名死亡

令和6年 ⇒ 風呂場での救急件数26件中10名死亡

令和7年 ⇒ 風呂場での救急件数21件中13名死亡(11月8日現在)

(貼付け例)



問合せ 名取市消防署 TEL022 - 382 - 3019 救急救助係 (内線430)

2 0 0 mm



入浴中の事故に注意して下さい！

- ・ 入浴前に浴室、脱衣所を温め、湯温は41度以下に
- ・ 飲酒や服薬直後の入浴は控え、長風呂をしない
- ・ 入浴前に同居者に声をかけ意識してもらいましょう



救急ご用心！ 命をつなぐ 救急講習 を受けましょう 名取市消防本部

5 0 mm